



鹿島中だより



〈日々の活動を紹介 鹿島中HP〉

8月29日(木)からスタートし、12月25日(金)の終業式で80日間という長い学期を終えます。

今学期は、体育祭や合唱コンクールなどの行事、修学旅行や職場体験などの校外研修、部活動の新人戦や連合音楽会などがあり、限られた時間の中でお互いに協力して取り組み、一人ひとりが輝き、笑顔いっぱいに頑張っている姿を多く見かけました。そして、その積み重ねが学校全体の明るい雰囲気となり、新たな伝統を築いています。まだまだ前進していく鹿島中生が楽しみです。これから始まる冬休み、この1年を振り返りながら新年のスタートに向けた準備も進めていきましょう。

保護者の皆さま、地域の皆さまから様々なところで、ご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。本校にとって大変大きな励みと力になりました。来年も引き続きよろしくお願いいたします。

新たなバトンを引き継いでいきます。(生徒会役員選挙・生徒総会)

11月28日(木)、生徒会役員選挙(立会演説会及び投票)を行いました。その日に向けて、各候補者とも毎朝の選挙活動、そして選挙演説(放送及び終礼前)において各自の思い・願いを訴えてきました。選挙当日、立候補者一人ひとりが鹿島中学校をより良くしたいという決意と生徒会活動への願いなどについて、力強く訴えかけました。全校生徒もその気持ちを受け止め、真剣に耳を傾けていました。全ての演説が終了した後、松江市選挙管理委員会から借用した投票箱・記載台を使用し、各自が責任ある一票を投じました。

翌週の月曜日(12月2日)に選挙結果が公示され、新生徒会誕生に向けた準備が始まりました。



12月18日(水)には、生徒総会を開催しました。全校でこれまでの生徒会活動を振り返り、今後の活動の充実に向けて協議しました。4月から一人ひとりが、鹿島中学校での学校生活をもっと充実させるために、いろいろと考え、協力し、行動に移してきました。

当日の生徒総会でも、それぞれの活動を自分事として真剣に考え、次につなげていこうとする気持ちが伝わってきました。また、3年生のリーダーシップのもと今まで築き上げてきたものを、新執行部や1・2年生がしっかりと引き継いでいくという意欲が感じられ、とても頼もしく思いました。新役員の任命式・委嘱式も行い、新生徒会がいよいよスタートします。



人権について考え、理解を深めました。(人権週間の取組)

12月4日(水)から12月10日(火)は人権週間でした。これにあわせて、図書館前に関連図書の紹介、昇降口付近に鹿島ふれあい学園「人権標語」の展示を行うとともに、12月6日(金)に人権集会を実施しました。

今年の人権集会のテーマは、「個性を認め合おう」でした。生徒会執行部の企画・運営による寸劇やグループ協議を通して「個性の大切さ」について考えました。集会で感じたこと、考えたことなどにこれまでの経験を重ね合わせながら全校で人権尊重の大切さについての理解を深め、人権感覚を高めることにつながる集会となりました。

この集会をきっかけに、今後も人権について考え、様々な人権問題を自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、行動していきましょう。



【生徒感想より】

- ・自分が思ったことを素直に言うこと、相手や周りの空気に流されないことが大切ということが分かりました。
- ・日常生活の中で、すれ違いが起こることはたくさんあるので、相手の気持ちも尊重していきたいです。
- ・一人ひとりに違う個性があり、認め合い、その個性に自信をもつことが大切だと思いました。
- ・人と違うから「嫌だ」「変だ」と思うより、人と違うからこそ「いい」と思えるようになりたいです。

電子メディアの使用について(健康チャレンジ週間・学校保健委員会)

鹿島ふれあい学園では、年3回、健康チャレンジ週間を設け、望ましい生活リズムの定着をめざしています。学園の共通目標(メディア時間)として、「メディア使用は小学生 60分、中学生 120分」と設定しています。

生徒会保健委員会では、チャレンジ週間実施に向けて全校にアンケートを取り、「暗い所でメディア機器を使わない」という中学校独自の目標を設定し、全校で取り組みました。

チャレンジ週間期間中のメディア接触時間が減少するとともに、暗い所のメディア使用を1週間控えた生徒は60%という結果となり、目標を意識して取り組むことができました。この取り組みを学校保健委員会で発表し、委員の皆さまから健康の大切さ、活動継続の必要性等について、ご意見をいただきました。



将来に向けて (3年生から2年生へ職場体験学習プレゼン)

12月11日(水)、職場体験学習プレゼンテーション(発表会)を実施しました。これは、3年生が10月に行った職場体験学習(3日間)において学んだことを2年生に伝えるというものです。

3年生は、事業所ごとにまとめたレポートについて自分の言葉で丁寧に、分かりやすい説明を心がけていました。

3年生にとっては、働くことのやりがいや意義等を改めて理解するとともにプレゼン力を高めること、2年生にとっては、来年の職場体験学習の参考にしていくことを目的としています。お互いに、今後の進路選択、職業選択につながる発表会となりました。



「まつえ子ども 夢 ☆ 未来塾」(1年生)

11月18日(月)、株式会社さんびる社長の田中正彦さんをお招きし、1年生を対象とした「まつえ子ども 夢 ☆ 未来塾」を実施しました。

田中さんから仕事に対する思い、やりがい、こどもの頃からの夢などについて、ご経験をもとにお話ししていただきました。優しく、熱く語っていただき、あっという間に時間が過ぎていきました。

講演を通して、感謝の気持ちをもつこと、小さなことを積み重ねていく力を身につけることの大切さなどについて学びました。

自分自身のこれからの生活や夢を見つめ、それぞれの進路について考えるきっかけとなった講演会でした。



多くの方との出会い・ふれあい 今学期も、多くの方との素敵な出会いがありました。中国電力陸上部の油谷繁さん、防災講師の宮本英一さん、フリーアナウンサーの山崎瑞穂さん、助産師の熱田愛子さんなど、講師の方々の方々の考え方、生き方にふれ、多くのことを学び取ったのではないのでしょうか。今後の新たな出会いを楽しみにしています。

※日々の活動の様子、今後の予定については、本校HPでご確認ください。